

ティーチング・ポートフォリオ

1. 教育の責任

2023年度の担当科目一覧表

科目区分 (教養/専門/教職)	科目名	種別 (必修/選択)	開講時期	受講者数
専門	栄養士入門	必修	1年前期	29名
専門	栄養指導論	選択	1年後期	25名
教養	キャリアプログラム	必修	1年後期	25名
専門	臨床栄養学概論	選択	2年前期	35名
専門	栄養指導論実習1	選択	2年前期	35名
専門	実践栄養士論	必修	2年後期	35名
専門	学外実習2(病院)	選択	2年後期	2名
専門	子どもの食と栄養2	選択	2年後期	39名
専門	健康栄養ゼミナール1	必修	2年前期	8名
専門	健康栄養ゼミナール2	必修	2年後期	8名
教養	社会人入門3	必修	2年前期	35名
教養	社会人入門4	必修	2年後期	35名

2. 教育の理念

専門家としての知識や技術で信頼されるとともに、広い視野で判断し行動できる人材の育成を教育の理念としている。そして、栄養学的な根拠に基づいて健康の維持・増進に寄与できる栄養士の育成を目標に指導を行っている。

3. 教育の方法

専門課程の各講義では、基礎および専門知識の学修に際し、シラバスに沿った講義内容で事前事後学習を促し、教科書および関連資料を用いての具体的な解説で理解を深め、関心を持って授業に臨める展開となるよう努めている。また、小テストの実施や課題により理解度の確認を行うとともに、解説や補足の説明で疑問の解決に努めている。

実習においては、幼児の食育指導媒体として紙芝居の作成や、講義で得た知識を基に課題への取り組みを行っている。媒体作成や課題への取り組みは、先に学んだ講義での理論を復習することで成果に繋げている。食育紙芝居の作成では、作成の過程から実演に至る全体についての自己評価に加えて、実演発表についてグループワークでの意見交換の場を設け今後役に立つ取り組みとなるよう企画している。また、学外実習(事業所)での食育実習において作成した媒体を活用する機会もあり更なる実習経験をj得ている。

4. 教育の成果

専門分野の学修に対して、難しさを感じながらも教科への関心を持ち努力を続ける姿勢が結果に結びついている。小テストや課題は、小節ごとの振り返りとして一定の効果をもたらしており、学習成果にも表れている。

5. 今後の目標

講義においては、専門的な講義をより分かりやすく学修できるよう方法や内容および資料などの改善を進めていく。また、実習においては取り組みの成果を評価するとともに、実習過程や結果の振り返りも含めた学修を大切にしていきたい。

6. 根拠資料

- シラバス
- 授業資料
- 授業評価アンケート結果
- 授業改善計画書
- 小テスト
- レポート（非公開）